

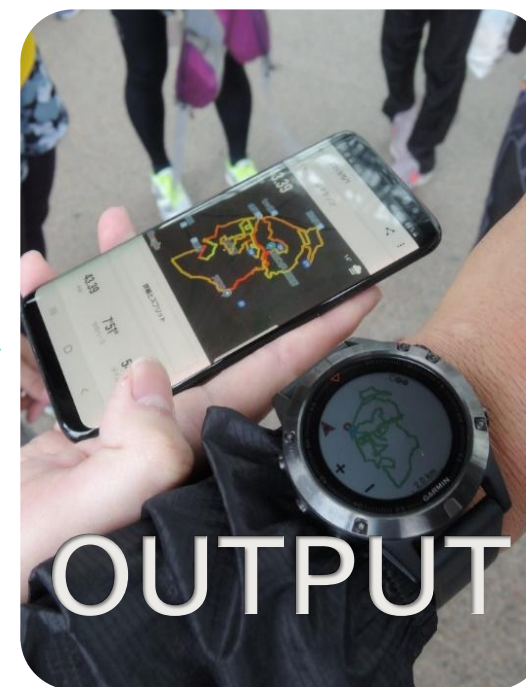
ほくりくGPSアート部 活動紹介



■ GPSアートとは

GPSアートとは、自分の位置を表示・記録できる機能を使用して地図上に絵や文字を描くアートなスポーツ。

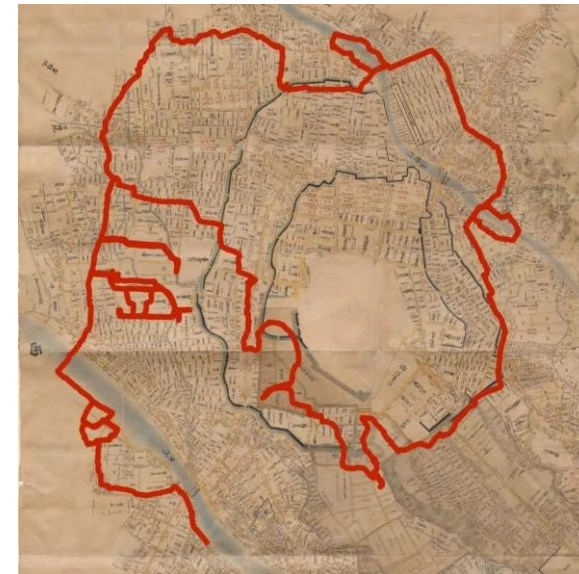
あらかじめ描きたいイラストや文字を用意して、スマホなどGPS機能が搭載されたデバイスを用いることで巡った軌跡がアートになるというもの。



■ ほくりくGPSアート部

ほくりくGPSアート部は、GPSアートイベントを通じて人と人、人と地域を繋ぐ活動を企画運営することを目的に2023年に設立しました。

GPSアートは、スポーツとアートをデジタルの力で融合する現代アート型アクティビティ。観光と親和性が高く、メッセージ性があります。老若男女、誰もが取り組み、人と人との繋がりを広められます。



延宝金沢図
(1673年) に
現代のGPS
アートを貼付

このような滑らかな地上絵を描けるのは、加賀百万石の江戸時代の城下町がそのまま残っているからこそ。

■ GPSアートの活用

① 一人で作る（ルートマップ公開）

ルートマップを公開し、いつでも、誰でも制作することができる。



✓ コースを観光地化することで地域振興の一助に

② みんなで作る（イベント開催）

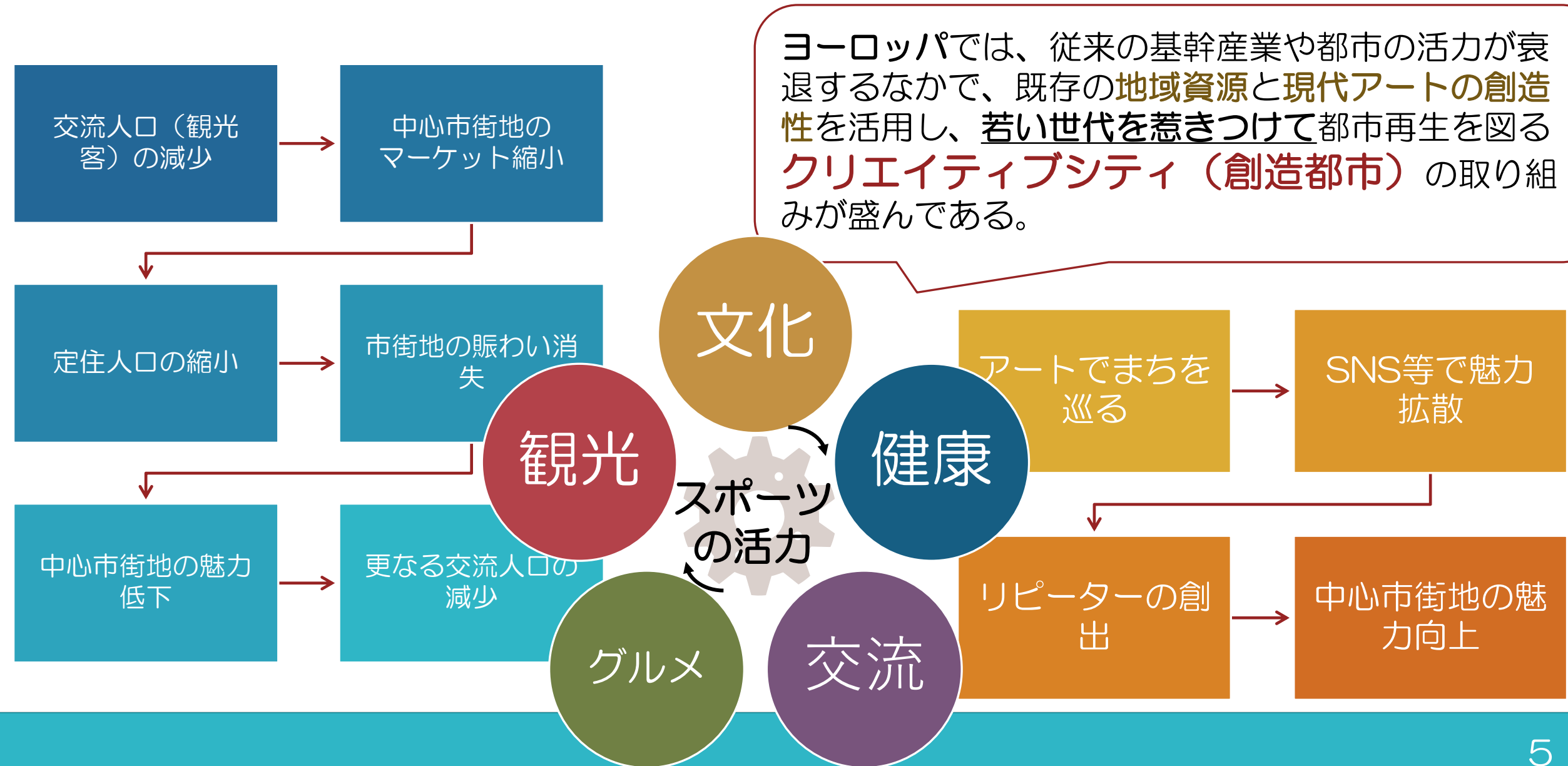
ナビゲータランナーについていくことで、GPSアートを制作することができる。



✓ 新しい形のスポーツイベントとなる

■ アートによる地域活性化（地域を創造都市に）

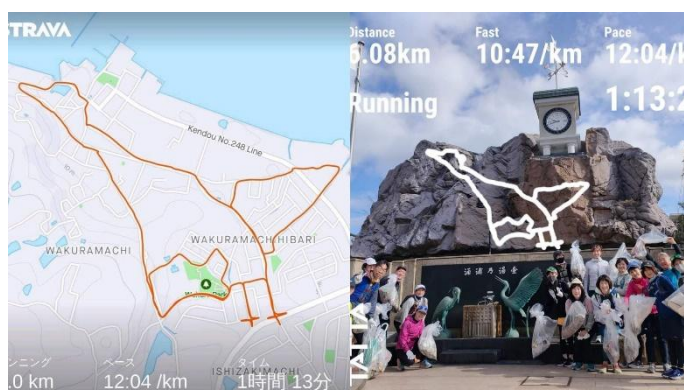
ヨーロッパでは、従来の基幹産業や都市の活力が衰退するなかで、既存の**地域資源**と**現代アートの創造性**を活用し、**若い世代を惹きつけて都市再生を図るクリエイティブシティ（創造都市）**の取り組みが盛んである。



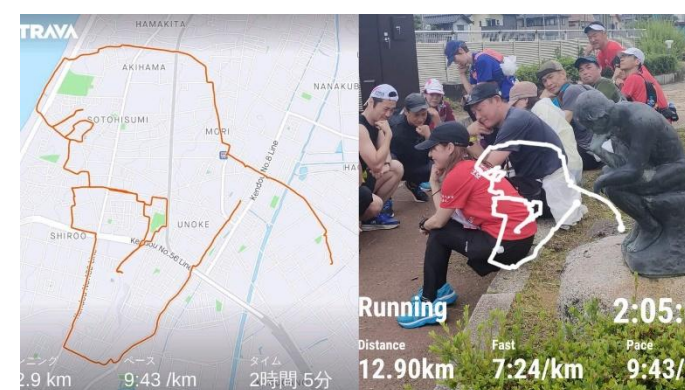
ご当地GPSアート (2023年実績抜粋)



輪島市 わんじま 11km
(輪島観光スポット巡り)



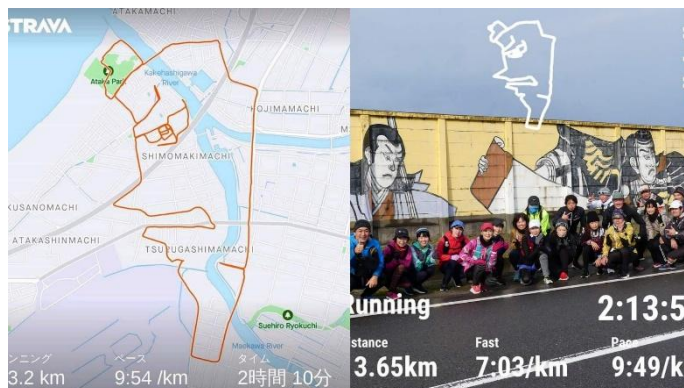
七尾市 白鷺 6km
(和倉温泉巡り)



かほく市 考える人 12km
(西田幾多郎スポット巡り)



野々市市 富樫氏 10km
(野々市観光スポット巡り)



小松市 歌舞伎 13km
(勧進帳スポット巡り)



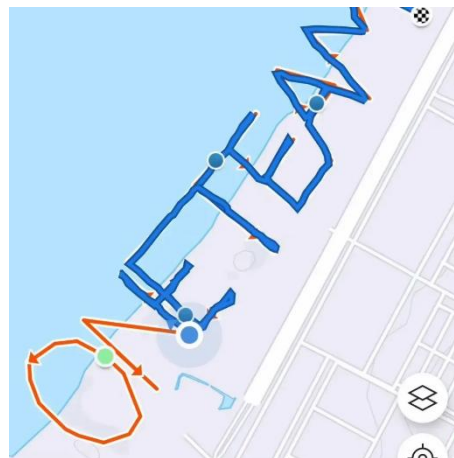
加賀市 かもまる 10km
(大聖寺観光スポット巡り)

■ 広大な砂浜で作るGPSアート

ごみ拾いをしながらジョギングやウォーキングをする**プロギング**という活動が広まっています。ごみを拾うためにしゃがんだり、足を曲げたり、健康づくりにもぴったり。参加者同士のつながりもでき、心身ともにリフレッシュできると言われています。

そこにアートを掛け合わせれば、ひとつのものを**みんなで作り上げる喜び**や、**メッセージを表現**するという要素が加わります。

広大な砂浜のキャンバスは何を描くのも自由自在、いろんなアイデアを形にできます。ゴミ拾いをしながらアート制作することで一体感を醸成する。砂浜にアートを描いて環境問題のメッセージを発信する。アートが育む地域のこれから。何かきっかけになればと考えます。



返信アートの開発（2024年）



GPSロガーアプリ「ルートヒストリー」を活用。参加者はスマートフォンを用い、GPSアートを描く。アート制作後、ルートヒストリーからGPSデータをメール送信。
被災地域の象徴的写真とメールで受け取ったGPSデータをプログラムにより画像合成を行い、参加者へ被災地域から返信アート（お礼アート）の形で自動返信する仕組みを開発する。
参加者は、その画像を用いて、SNS等に投稿できる。